

パネル展「カラーユニバーサルデザインの可能性—— すべての人にやさしい色づかいとは」来場者アンケート結果報告

1. 目的

本アンケートは、来場者が何によってパネル展の情報を得たのか、展示内容のうちどのテーマに関心が集まるのか、開催予定のイベントへの関心はどの程度あるのかを明らかにし、今後の広報ツールの在り方と活動内容の方向性を探ることを目的とする。

2. アンケート期間・場所

2016年11月23日（水）～11月27日（日）

メニコン ANNEX ギャラリーMenio （名古屋市千種区〒461-0004 愛知県名古屋市東区 葵 3-20-26）

3. 調査方法

パネル展会場の一面にアンケート記入コーナーを設置。「アンケートにお答えください」というメッセージボードとともにアンケート用紙を置いておき、スタッフが来場者に声をかけ記入してもらう。

4. 回収状況

回収数：49 枚（来場者数 150 人、回収率 32.6 パーセント）

有効回答数：49 枚

5. アンケート結果について

- ・アンケート回答者が来場者の 3 人に 1 人であり、やや回収率が低かった。改善策として、受付で会のリーフレットとともにアンケート用紙を配布し回答を求める方法があろう。
- ・Q1 によって、不特定多数に向けた FB や DM 配布より、メールでの案内や知人の勧めによって来場した者が多いことがわかる（アンケート回答者 49 人の約 75 パーセント）。今回初めて郵便局でのチラシ設置を広報ツールとして試してみたが、回答者のうち「郵便局でチラシを見た」にチェックした人は 2 人と少なく、費用対効果はそれほど高くはないこともわかった。
- ・Q2 によって、展示内容に対する満足度は高く「満足」と「やや満足」で全体の約 96 パーセントを占めることがわかる。
- ・Q4 によって、展示内容のうち最も関心が高かったのは「バリエーションを使った色弱者の見え方の体験」であることがわかる。回答者の約 75 パーセントが特に関心があるとしている。「ドット絵の三部作」, 「色弱と色覚タイプの多様性について」と「カラーユニバーサルデザイン（CUD）の実践事例」はほぼ同数。色覚の多様性を実際の体験を通して知ることの重要性と、さらにバリエーションが P 型・D 型と C 型色覚者とのコミュニケーションツールとしても大いに機能することが確認された。
- ・Q5 によって、「色弱者とその家族の話を聴き CUD についてオープンに語り合う場」への関心が高いことがわかる。「参加したい」と「詳細が決まったら案内がほしい」で全体の約 67 パーセントを占め、連絡先情報を獲得できた意味は大きい。特に「参加したい」にチェックした人（11 人）に対するフォローを確実にいき、会の活動基盤を固める足がかりとしたい。

6. 別添付資料

- ・パネル展アンケート集計結果
- ・来場者アンケート用紙（集計数記入版）

以上

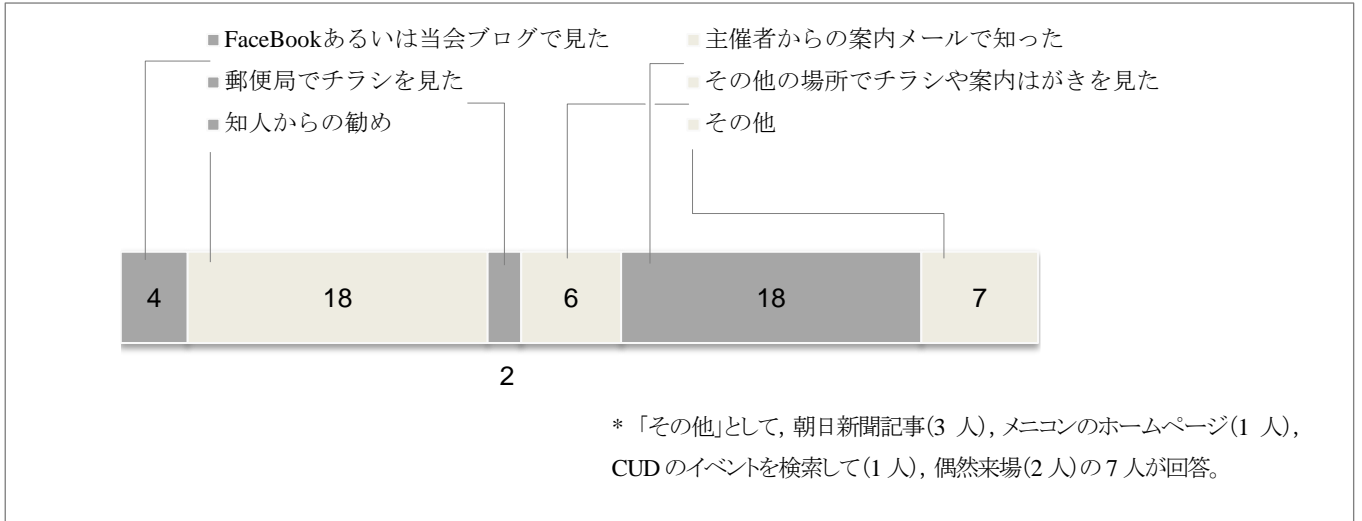
（報告者：林羊歯代）

パネル展来場者アンケート集計結果

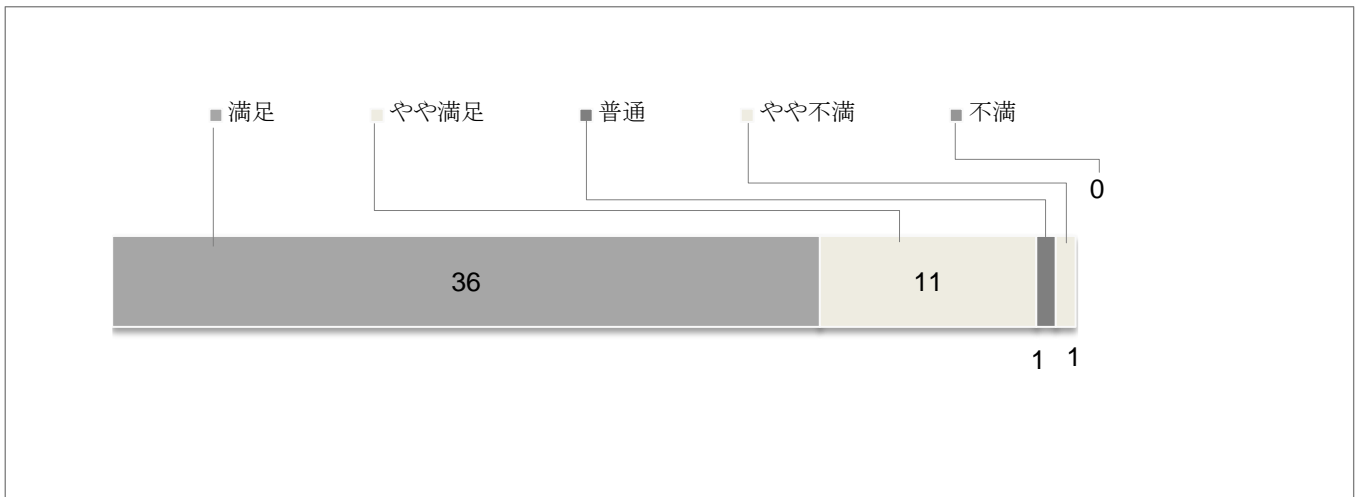
「カラーユニバーサルデザインの可能性——すべての人にやさしい色づかいとは」

2016/11/23～27, メニコン ANNEX ギャラリーMenio

1. このパネル展を何でお知りになりましたか。あてはまるものにチェック☑をしてください(複数選択可)。



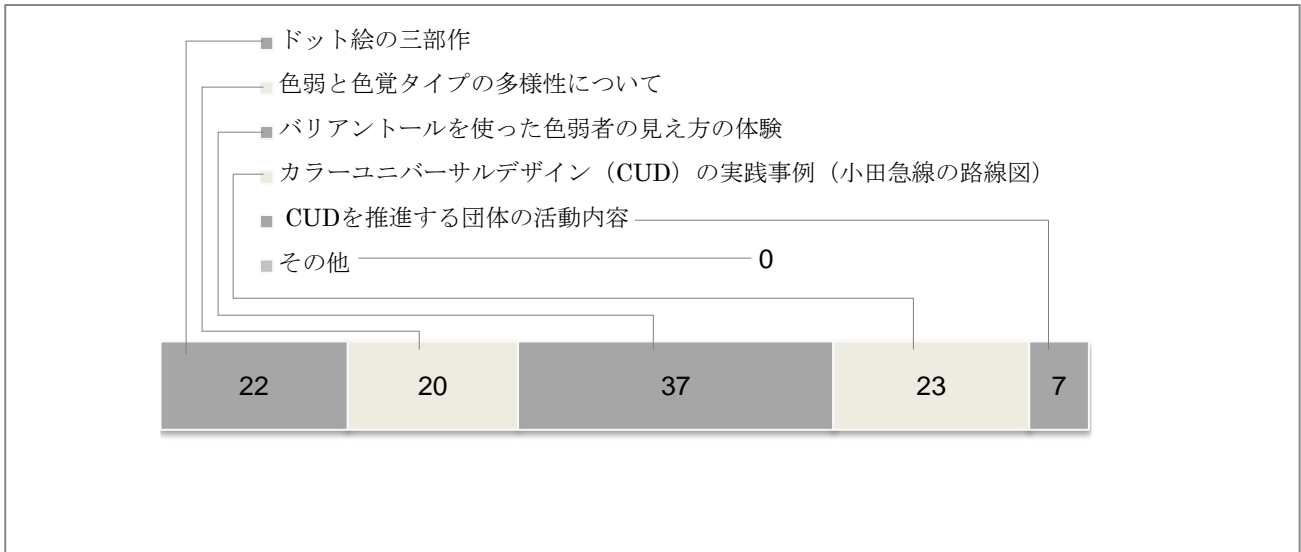
2. パネル展の内容はいかがでしたか。あてはまるものにチェック☑をしてください。



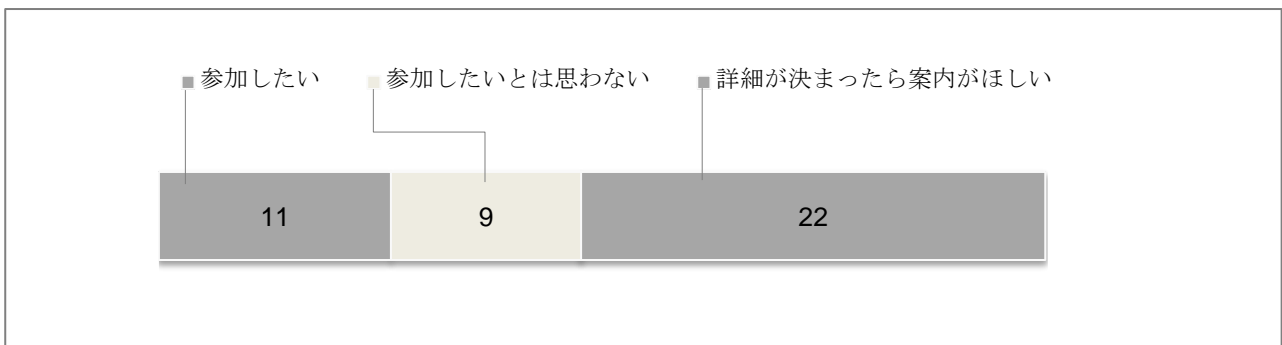
3. 上の質問で「やや不満」または「不満」とお答えいただいた方に質問です。どのような点がご不満でしたか。あてはまるものにチェック☑をしてください(複数選択可)。

- ・「やや不満」と回答した1名は「満足」にもチェックしている。やや不満であった理由として「配布資料がほしい。」にチェックがあり、「その他」として「もっと大きなブースで行って良いと思います」と記述されている。
- ・Q2で「やや満足」にチェックしているが、Q3に回答した1名は、「会場がわかりにくい」にチェックがあり、「その他」として「パネルはどれも興味深いものでした。」と記述されている。

4. 展示内容のうち特に興味のあるものはどれですか(複数回答可)。



5. 当会は今後、色弱者とその家族の話を聴きCUDについてオープンに語り合う場を、名古屋市内のカフェあるいは貸しスペース(詳細は未定)で定期的に関開く予定です*。参加したいと思いませんか。あてはまるものにチェック☑をしてください(複数選択可)。



6. ご意見・ご要望欄の記述 (原文を一部修正および省略)

- ・現在 Web デザインの仕事をしているので、色づかひの参考になりました。
- ・とても興味深く、勉強になりました。今後に生かしたいです。
- ・自分とは違う色の見え方をしている人がいることを初めて知りました。周りの人の色の見え方にも気遣ってほしいと思いました。
- ・「色弱」という言葉は知っていたものの、どんな時に困るのか知らなかったので勉強になりました。たくさんの人に知ってもらうことが大事だと思いました。
- ・これからも頑張って下さい。
- ・大変良かったです。CUD の可能性はすごいです。
- ・CUD の活動内容の一部が理解できました。
- ・岐阜の方でも活動して下さい。
- ・この社会が人にやさしい配慮に満ちたものになっていくといいですね。
- ・色弱、色盲の方の割合が自分が思っていた以上に多かった。
- ・ゴッホ・ゴーギャン展にバリエントールを持って見に行く。
- ・とてもわかりやすいパネルと見やすい内容でした。パネルが参考になり弊社でも是非活用させて頂きたい。
- ・今後また展示会などがあるときは図書館などに案内が置いてあると助かります。普段の生活が実際どのように大変なのか知りたいです。

以上

来場者アンケート

本日はパネル展「カラーユニバーサルデザインの可能性——すべての人にやさしい色づかいとは」を
ご覧いただき、ありがとうございます。よろしければアンケートにご協力をお願いいたします。

1. このパネル展を何でお知りになりましたか。あてはまるものにチェック☑をしてください（複数選択可）。

- FaceBook あるいは当会ブログで見た **4** 主催者からの案内メールで知った **18**
 郵便局でチラシを見た **2** その他の場所でチラシや案内はがきを見た **6**
 知人からの勧め **18**

2. パネル展の内容はいかがでしたか。あてはまるものにチェック☑をしてください。

- 満足 **36** やや満足 **11** 普通 **1** やや不満 **1** 不満 **0**

3. 上の質問で「やや不満」または「不満」とお答えいただいた方に質問です。どのような点がご不満でしたか。
あてはまるものにチェック☑をしてください（複数選択可）。

- 基本的な情報が多く物足りない。 パネルの説明に疑問をもった。
 実物の展示品について説明が足りない。 スタッフの対応が不十分である。
 会場がわかりにくい。 **1** 配布資料がほしい。 **1**
 その他（)

4. 展示内容のうち特に関心のあるものはどれですか（複数回答可）。

- ドット絵の三部作 **22**
 色弱と色覚タイプの多様性について **20**
 バリエーションを使った色弱者の見え方の体験 **37**
 カラーユニバーサルデザイン（CUD）の実践事例（小田急線の路線図） **23**
 CUD を推進する団体の活動内容 **7**
 その他（)


5. 当会は今後、色弱者とその家族の話を聴き CUD についてオープンに語り合う場を、名古屋市内のカフェある
いは貸しスペース（詳細は未定）で定期的に関開く予定です*。参加したいと思いませんか。あてはまるものにチ
ェック☑をしてください（複数選択可）。

- 参加したい **11** 参加したいとは思わない **9** 詳細が決まったら案内がほしい **22**

* 当事者が気軽に「こんな時、こんな場面で、こんなふうに関るんだよね」と語り、皆でそれを聴くことが中心と
なります。この集いの目的は、CUD を必要とする身近な課題を見つけ出すことです。ここで共有された情報をも
とに、私たちは「CUD への提言」として発信していくつもりです。

※当会が主催する勉強会等についてメールでのご案内を希望される方は、以下にお名前、メールアドレスと電話番号をご記入
ください。電話番号はメールアドレスの確認が必要になった場合のために、必ずご記入ください。

お名前	メールアドレス	電話番号
■ご意見・ご要望		



ご協力ありがとうございました。今後の活動の参考にいたします。